

2020年12月14日

## 動画が流せるフラッグ！？ JR 品川駅にて新たな広告手法の可能性を模索する 実証実験を開始！

- 株式会社ジェイアール東日本企画（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：原口 幸）は、2020年12月14日（月）から12月20日（日）まで、プロジェクターを活用した広告商品の実証実験を行います。
- 品川駅の中央改札内にある大型フラッグ3基6面のうち1面を活用し、パナソニック社製のプロジェクターおよび、クラウド型広告配信システム※<sup>1</sup>により、これまでのフラッグ広告※<sup>2</sup>では困難であった曜日・時間帯別の素材切り替えや動画放映が可能となります。
- 当社は、既存の交通広告にデジタルソリューションを掛け合わせることで、鉄道をご利用いただくお客さまに「新しい、楽しい、便利な」体験をお届けするため、様々なパートナー企業の皆さまと連携を図って参ります。

※<sup>1</sup> 参考システム構成をご参照ください。

※<sup>2</sup> 品川駅中央改札内の頭上に吊るす大型ターポリン素材の広告商品です。（サイズ縦 3.2m×横 4.8m）

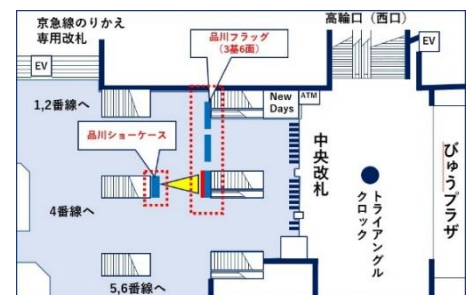
### ■実施概要

(1) 実施期間 : 2020年12月14日（月）～2020年12月20日（日）

※実証実験のため、予告なく中止する可能性があります。

(2) 放映期間 : 5:00～24:00 (19時間)

(3) 実施場所 : JR 品川駅中央改札内（右図参照）



(4) 広告主 : 株式会社 Jackery Japan

(5) 広告内容 : 商品告知

(6) パートナー : パナソニックシステムソリューションズジャパン株式会社

(本社：東京都汐留、代表取締役社長：片倉 達夫 以下、パナソニック)

富士フイルムイメージングシステムズ株式会社

(本社：東京都品川区、代表取締役社長：西村 亨 以下、FFIS)

※品川駅大型フラッグ3基6面のうち1面が本実証実験で使用する面となります。

残り5面は通常のフラッグ広告での展開となります。



### ■ 投影の仕組み

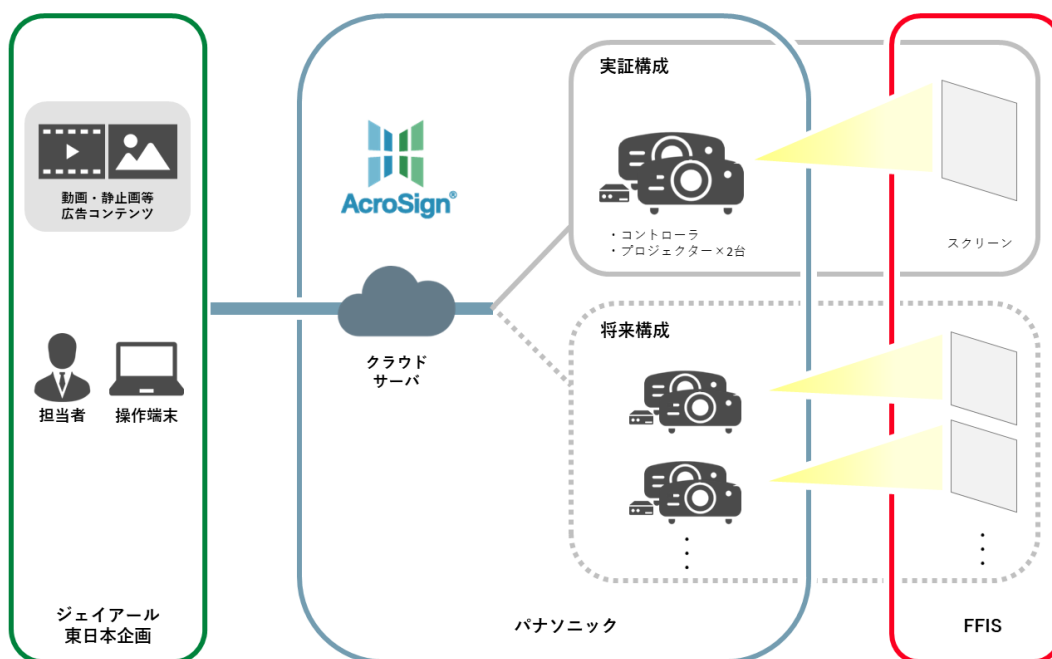
品川駅の改札内にあるショーケースの上部にプロジェクターを2台設置し、フラッグ面に対して同じ映像を「重ね打ち」投影することで、品川駅構内でも視認可能な明るさを実現しております。

### ■ 本取り組みの狙い

プロジェクターを使用することで、駅の大型媒体を使用したダイナミックな映像表現を可能とし、従来のフラッグでは難しかった曜日・時間帯別で素材の切り替え放映も可能にしつつ、アテンションをより獲得できることを期待しています。また今回はショーケース内部も使用することで、その親和性の確認も行います。

この取り組みでの成果を踏まえ、従来の交通広告と新技術を融合させた新たな広告展開を「共創」という形で実現させ、広告主の多様なニーズに応えることを目指します。

### ■ 参考 システム構成図



注記：AcroSign とは、パナソニックの「多様なコンテンツ」を「最適化されたシステム」で「豊富なデバイス」へ発信するコンテンツ配信サービスです。